



川崎市障がい者スポーツ 指導者協議会NEWS

第39号 2022年3月発行

2022年度(令和4年度)川崎市障がい者スポーツ指導者協議会総会を開催します

2022年度(令和4年度)総会を4月に開催いたします。総会の出欠に関わらず別添の「総会及び大会等ボランティア意向アンケート」にご記入の上、提出してください。

<開催概要>

日時:4月16日(土) 13:00~14:30

会場:川崎市中部身体障害者福祉会館(川崎市中原区小杉御殿町2-114-1)
(JR南武線武蔵中原駅より徒歩19分 武蔵小杉駅より徒歩18分)

議題:2021年度(令和3年度)事業報告及び会計報告
2022年度(令和4年度)事業計画及び予算(案)
表彰制度等

大会等ボランティア意向アンケート提出のお願い

大会等ボランティアが可能な方は送付された『大会等ボランティア意向アンケート』に記入し、指導者協議会事務局まで提出してください。障害者スポーツプログラム(旧名称:障害者スポーツデー)は実施が決定したのちにボランティアを募集致します。なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況等により中止や変更等する場合があります。その際は川崎市障がい者スポーツ指導者協議会ホームページに開催情報を掲載いたしますので、参加予定の方は確認してください。

提出期限:2022年3月25日(金)必着

初級障がい者スポーツ指導員養成講習会が開催されました

令和3年度の講習会が1月8日~10日の3日間、高津スポーツセンターで開催されました。

近年は年に2回講習会が開催されていましたが、今年度は新型コロナの感染拡大の影響で9月に行われる予定の講習会が中止となり、今回のみの開催となりました。19名が受講し、全員が講習を無事に修了しました。講習会には指導者協議会から石田会長をはじめ総勢4名がそれぞれ所属から講師として講義を担当しました。



東京 2020 大会で多くの指導員が活躍しました

2021年7月23日に開幕し、熱戦が繰り広げられた東京2020大会。その熱戦の裏側では指導員がスタッフとして様々な場面で大会を支えていました。大会に参加した指導員の大会レポートをまとめてみました。レポートとともに東京2020大会を振り返ってみましょう。

山口遥さん(マラソン女子 西島美保子選手 伴走者)

パラマラソン伴走者となったきっかけは3年前。所属するクラブチームのコーチがブラインドマラソンの強化委員長を務めていたことから、話を持ちかけられて活動をスタートさせました。そして昨年6月に東京2020大会に出場する西島美保子選手の伴走者をする事が決まりました。伴走した西島選手は、リオに引き続き、今回が2度目のパラリンピック出場。前回のリオでは途中棄権に終わり、今回の東京では必ず完走することが目標でした。私はリオ大会時の男性伴走者と交代することになり、練習だけでなく、同性ならではの私生活面やメンタル面にも寄り添って行動することも役割と感じていました。

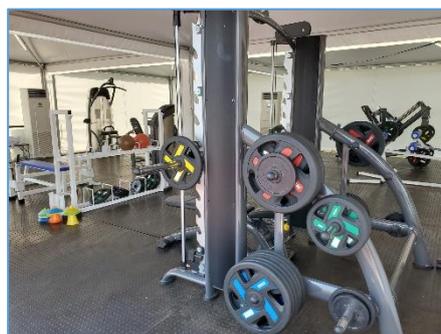
大会当日は予想外の気候条件で、西島選手は35キロ手前で脚部の痙攣に襲われてしまいました。アキレス腱を伸ばすなど対処し、「何があってもテザーを離さないで」と声をかけつづけ、完走を目指し、3時間半を切って8位入賞でフィニッシュできました。本来狙っていた順位やタイムを出せなかったのは、すごく悔しかったですが西島選手の伴走者を務められたことを心から嬉しく思っています。



兼重由美さん(オリンピックスタジアム イベントサービス)

オリンピックのフィールドキャストとして参加予定でしたが、新型コロナの感染が拡大し、ボランティア自体の活動が一旦なくなりました。しかし横浜スタジアムで行われた野球の韓国対イスラエル戦で1日だけ活動することができました。パラリンピックでは感染症の影響でボランティア辞退者が多数出て急遽、オリンピックスタジアム(国立競技場)での活動が決まり、10日間をイベントサービスとして活動しました。活動を通じた貴重な体験・仲間との出会いは一生の宝物になりました。

活動内容はチケットの確認や観客の会場案内・誘導でしたがオリンピック同様、無観客となり活動は一旦なくなりましたが別の役割を作っていただき活動ができました。集合場所の秩父宮ラグビー場、観客席の座る場所でその日の役割が決まります。慣れてくると仲間ができ、今日はこの活動がやりたいから「ここに座ろうよ」と誘われ様々な活動に関われました。



ウォーミングアップエリア内(サブトラック)各ブースの様子
左:ラウンジ 中央:ウエイトトレーニング 右:アイシング用テント

開会式の選手の動線を確認するため選手役として入退場を繰り返すドレスリハーサル。開会式前2日間でアルゼンチン・チュニジア・日本・イタリア・スペイン・ポーランド6カ国の選手になりきりました。またプロトコールというVIPの案内をするボランティアも担当しました。IDカードによってスタジアム内に入るゲートが違うため案内・誘導を行います。英語が話せず苦労しました。そしてIDカードのチェックをして通行許可を出すアクセスコントロール。それ以外にもウォーミングアップエリアへの通路案内・国立競技場へのルート案内・バスやタクシー乗降場案内・トイレやシャワー更衣室などの案内など。様々な活動をしました。

そして医療従事者しか携われない活動に無理を言って参加。近隣小学校のお出迎えとお見送りをしました。この日は渋谷と新宿区から15校1800人(3年~6年生)がバス77台で来場。大会を拍手で盛り上げてくれました。審判員が「今日の小学生は最高！ 拍手のタイミングがバッチリだった！ 選手は凄く喜ぶんだよ」と少し涙ぐんで嬉しそうに話をしてくれました。



飯島知行さん(選手村事務局アシスタント)

オリンピック、パラリンピック共に選手村で事務局アシスタントとして合計17日活動しました。内容は選手団と組織委員会事務局との間の諸問題の調整役でした。オリンピックではクロアチア、パラリンピックはセネガルを担当しました。特に担当国に問題がない場合は、フランス、リビアやベナン等フランス語圏参加国の選手団のお手伝いをしました。

総じて問題は少なく、複雑な問題にも直面しませんでした。選手が問題無く競技に専念できる環境を作るお手伝いを念頭に置き活動をしました。

コロナ禍での開催であり選手とボランティア選手村での接触は限られており、また全員マスク姿で有名選手と出会う事はほとんど無かったのが残念でした。

岩田聖市さん(トライアスロン競技 横断路監視)

オリンピックで3日間、パラリンピックで3日の計6日間の活動でした。オリンピックという世界大会でのイベントボランティアであったが、横浜にて WTCS(ワールドトライアスロンシリーズ)横浜大会やプレ大会等でのボランティア、審判も経験しているため、大きな問題はなく実施できた。ただ、無観客でのボランティアであったため、シティキャストとしてのボランティアは中止となり、フィールドキャストとしても様々な人との接触ができず、残念ではあった。

O.Yさん(馬術競技 競技ボランティア)

オリンピックで6日間、馬事公苑でボランティアをしました。コロナ禍のオリンピックでしたが、参加して良かったです。練習中の馬のボロ(ふん)拾い、アクセスポイントの連絡、馬のアイシングの準備等の業務に携わりました。普段見られない競技の馬と選手を身近に感じることができました。

写真はSMS上にUPLしないで自分で楽しむなら写真を撮っても良いと言われたので、練習中の選手にジャスチャーで「写真を撮ってもよいですか」と確認したら「一緒に撮りましょう」と言ってくれたので、選手と馬と自分のスリーショットを撮ることができました。後で銅メダリストと一緒に記念写真となりました。毎回、一緒に働くメンバーが変わるので、その度にオリンピックオブジェの前で記念写真を撮りました。6日間だけでしたが、良い思い出ができました。

障害者スポーツ大会 活動報告

グランドゴルフ大会 11月13日(土) 会場:富士見公園 市民広場



身体障害者球技大会のグランドゴルフ大会が2年ぶりに開催されました。新型コロナの感染対策として例年の半分の8ホールを2ラウンドで競技が実施されました。良い天気の中、18名の参加者がノビノビと競技を楽しんでいました。

指導者協議会からも9名の指導員が各グループのスコアの記録や受付・本部の補助として大会のサポートをしていました。

ボッチャ大会 12月12日(日) 会場:カルツツかわさき 小体育室



今年から「団体の部」の他に「個人の部」が新た開催されたほか、チームごとの持ち時間の設定など競技大会として年々成熟してきています。団体の部は11チーム33名、個人の部は12名が参加し、白熱した戦いを繰り広げていました。タイブレークになる試合も多くみられ、参加者のレベルも年々上がっていることが実感として感じられます。指導者協議会からも12名が審判補助(一部主審)や受付・本部補助として大会をサポートしていました。審判を担当された方にはもれなく石田会長の厳しい視線が注がれていたとか…

障害者スポーツデー 10~1月 会場:カルツツかわさき 他



障害者の方がスポーツを始めるきっかけづくりとして「障害者スポーツ体験」「障害者専用時間」「障害者スポーツ教室」の3つのメニューが行われています。指導者協議会からは障害者スポーツ体験7回に51名の指導員を派遣しました。

個人の参加者やグループホームや地域活動支援センターなどの小規模事業所からの参加者が少しずつ増えてきているので、これをきっかけに参加した人が地域スポーツを続けていくようになれば良いと思っています。

山戸茂さんが日本パラスポーツ協会会長表彰 功労章を受賞しました

公益財団法人日本パラスポーツ協会が、障がい者のスポーツの発展に特に顕著な功労・功績のあったものを表彰し、障がい者のスポーツ振興に資することを目的として毎年行っている日本パラスポーツ協会会長表彰。

今年度の功労章に、永年にわたり地域や各種関係団体で障がい者のスポーツの発展に功労のあった者に送られる功労章を山戸茂さんが受賞されました。

おめでとうございます。これからも益々の活躍をお祈り申し上げます。



山戸さん受賞コメント

日本パラスポーツ協会会長表彰 功労章を受賞して

令和3年度の功労章をいただきました。大変名誉なことでありまたうれしく思うと同時に皆様方にも感謝申し上げます。

障がい者スポーツとの出会いは30年前に転勤で福岡県北九州市に移った時に、新聞記事で「雪のない福岡県で視覚障害者がスキーを楽しんでいるが、同行してくれる人、運転をしてくれる人がいないため、お手伝いをしてくれる人を探しています。」を読んだことでした。

早速会長に電話をしてお手伝いを始めることとしました。スキーで伴走することになり、大声を出して滑りました。そのボランティア活動の間に障害者スポーツ指導員の資格も取りました。風船バレー、車いすテニス、陸上大会、水泳大会等のお手伝いもしていました。

神奈川でのお付き合いは98年の「神奈川ゆめ大会」のボランティアに参加してからです。石川さん(前会長)との初顔合わせでもありました。水泳の稗田さんともその時に知り合いになりました。

川崎に移り住んでいる今も障がい者スキーのボランティアは続いています。ジャパンパラリンピック等各種大会にも出ています。ソチパラリンピック出場を目指していた視覚障がい者の伴走もしていました。川崎市障がい者スポーツ指導者協議会発足の前から川崎市からの依頼で陸上大会、水泳大会等のお手伝いもさせていただき、発足後は協議会メンバーとして各種スポーツの運営等お手伝いをしています。新たな仲間とも知り合いになれて良かったなと思っています。

個人的にはスキーのほかマラソン、水泳、山を楽しんでいます。よろしく願いいたします。



写真 左 山戸さん

協議会員から寄せられた声

●大会意向確認アンケート時の自由意見(令和3年11月)

意見1:講習会申込みが主催者に届いたら、主催者側からその旨の連絡がほしい。

回答1:大変申し訳ありませんが、今までどおり主催者から受信連絡は行わないことにします。

受信が気になる方は主催者にお問合せいただくようお願い致します。

意見2:審判講習会など資格取得講習会は早めに周知してほしい。

回答2:可能な限り、早めに周知できるよう検討致します。

●表彰制度(案)(令和3年11月)の意見等

令和3年11月に実施した表彰制度(案)に対する主な意見と回答は次のとおりです。

意見1:広報誌に寄稿(障がい者スポーツに関連する内容のもの)してくれた方を表彰したらどうか。

意見2:協議会が募集した総会、研修、大会参加者だけでなく、各地域で障がい者に指導やお手伝いしている人も表彰の対象にすべきではないか。

意見3:表彰制度に対する設置委員会を設けるべきだ。

回答:広報誌に寄稿してくれた方や地域で活躍している指導者の表彰も検討致しますが、まずは、原案で進め改善していきたいと思えます。なお、表彰者は、役員会で原案を策定して、総会で承認して決定したいと思えます。

メールアドレス登録のお願い

年度途中に新たに募集を行うボランティア等については、メールにて募集を行っています。また新型コロナウイルス感染症に関する情報提供やボランティア参加者には大会前に実施要領の送付等の活動に役立つ情報を発信しております。是非、メールアドレスの登録をお願いします。

《メールアドレス登録方法》

『大会等ボランティア意向アンケート』のメールアドレス記載欄に記入するか、下記の川崎市障がい者スポーツ指導者協議会のメールアドレスまでメールをお送りください。

なお、メールアドレスを登録しているのに、指導者協議会からのメールが届いていない方がいらっしゃいましたら川崎市障がい者スポーツ指導者協議会までお知らせ下さい。

発行:川崎市障がい者スポーツ指導者協議会事務局

住所:〒210-0834 川崎市川崎区大島1-8-6 川崎市身体障害者協会内

HP:<http://kawakyougikai.gouketu.com/index.html>

E-Mail:kawakyougikai@gmail.com



指導者協議会HP
QRコード